

ゆいのもり

NO. 8

2001年11月1日発行

ゆいのもり編集委員会

東京都昭島市田中町1-1-9

TEL042-545-5451

お引越し、ゆいのもり社とザ・サードゆいのもり

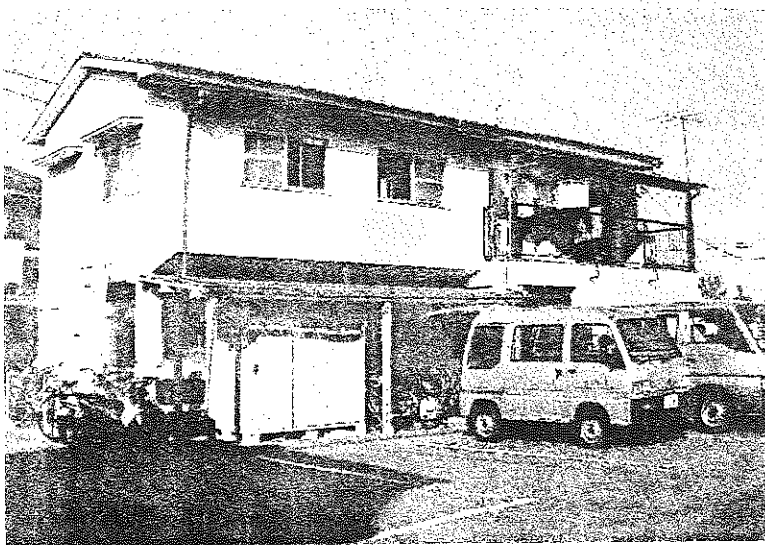
ゆいのもり社開所から12年、サードゆいのもり開所から4年、長年住み慣れたアパートから今年1月、田中町1丁目に引越しをしました。

長年慣れ親しんだアパートから一戸建に移転をして、現在は一階をザ・サードゆいのもりが、2階をゆいのもり社が使用しています。

ザ・サードゆいのもりは、厨房、メンバーの休憩室、相談室の3部屋があります。二階のゆいのもり社は相談室と休憩室の2部屋があります。広くなってずいぶん利用しやすくなりました。

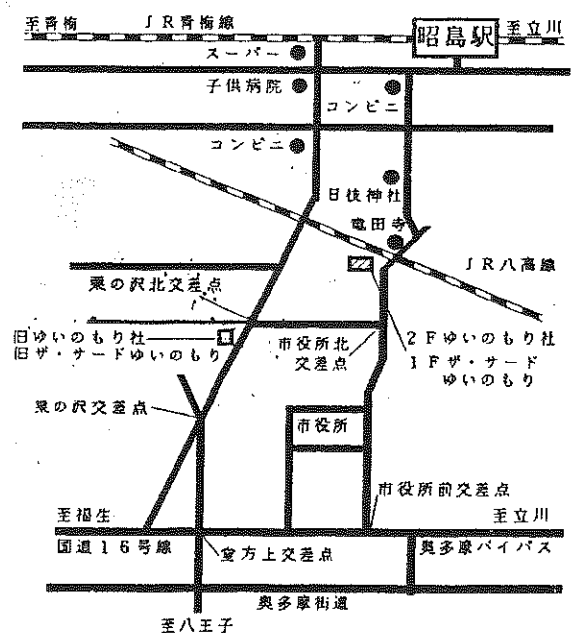
メンバーからは、「市役所から近くなった」、「活動場所が広がった」、「厨房が広がった」、「荷物の積み込みが楽になった」など移転をして良かった、という声がほとんど。

移転先は、市役所前のバス道路を駅に向かって歩いて5分。市役所内の喫茶森、保健福祉センターあいぽっくにもそれぞれ近くなりました。皆様、是非おこし下さい。



市役所から5分、田中町1丁目の新しい作業所です。

ゆいのもり社、ザ・サードゆいのもり 案内図



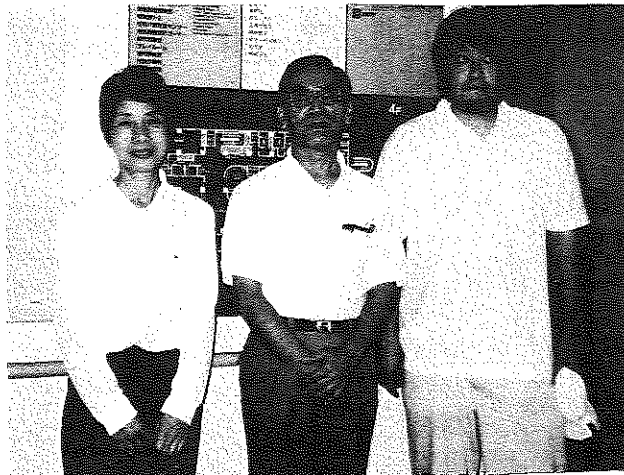
保健福祉センター 清掃始まる



保健福祉センターの清掃をご一緒に行ってくださいのパートの方々です。

こんにちは、
大和田富子
です。

清掃の仕事は、初めて
ですので、わ
からない事
もあります
のでよろし
くお願い致
します。



竹花 秀隆
です。
よろしく
お願いしま
す。

大松 末廣です。

10月1日より「ゆいのもり社」に入社し1週間に成ります。障害をもつ方と昭島保健福祉センターにて清掃の仕事を行っています。今回私は、この様な清掃業務の仕事は初めて勤務する事にあたり、不安感を抱いていましたが、昭島保健福祉センターに勤務されている職員の皆さん及び「ゆいのもり社」の職員又従業員の方に助けられ毎日充実し地域福祉に貢献出来るやりがいのある仕事が出来ています。

今後も「ゆいのもり社」にて自分の力を十分に発揮し邁進致します。

お世話になりました——ケル株式会社

これからがんばります——保健福祉センター

1989年から12年間続けてきた会社清掃でした。「ケル」の方は、青梅のひこばえの家が後を引き継いでくださいました。

私たちは、10月から昭島市に新しくできた保健福祉センターの清掃を行っています。ゆいのもり社のメンバーだけでなく、他の障害の方々と協同で行っています。

新しい作業の場、新しい人々との出会いなどを楽しみ新鮮な気持ちで取り組んでいます。清掃方法なども「ストローク」という清掃専門の会社の方より研修をうけ、いっそう(?)グレードアップしました。センターを利用する方が気持ちよく利用していただけるようにきれいにしたいと思います。

☆ケル清掃をやってきたメンバーの一言

- ・ 社員の方は皆やさしかった。でも、最初は病気と見られているんじゃないかと気になった。社員のAさんが「今度俺は退職だよ。」と話しかけてくれた。自然に付き合ってくれた。
- ・ トイレ清掃がたいへんだった。特に詰まったときは、清掃中の迷子事件・水漏れ修理中の噴水事件・Iさんラーメン屋置き去り事件・壁に穴をあけてしまった事件が印象深かった。
- ・ お昼に外食に行ったことが楽しかった。—安楽亭、バーミヤン、九州ラーメン、ラーメンショップ等々—
- ・ 社会勉強になった。
- ・ こういう場を提供してくれてありがとう。
- ・ 仕事の楽しさを教えてくれた。
- ・ ケル清掃に入った時は精神的にまいっていた時だった。清掃に入って自信がついた。
- ・ 最初は行く人が集まらず、苦勞した。(職員)
- ・ 会社清掃12年の軌跡 赤羽 隆志

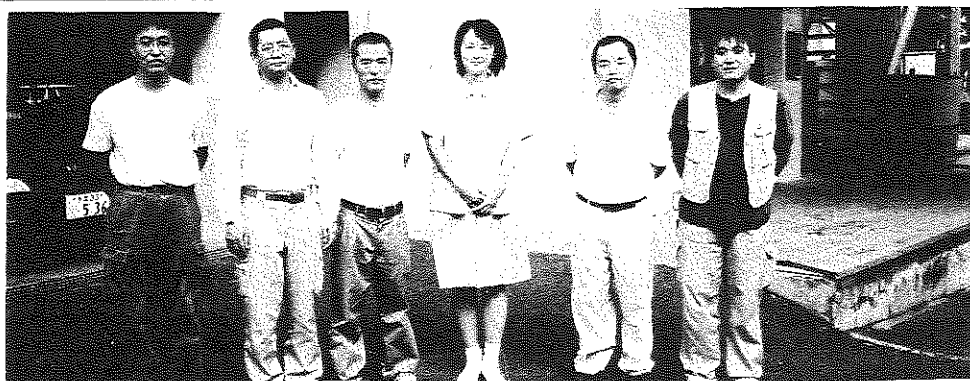
会社清掃は12年にわたり活動しました。ふり返ってみますれば、様々な想いが去来致します。月水金の仕事で私たちはそれを貫き通しました。悪天候の日もありました。台風、大雪、大雨に於いても、そのお陰で我々は評価していただきました。時給のアップ等…。しかし人の集まりの悪い時期があり(初期)私一人で仕事をしたという経緯もありました。

さて新天地ともいべき保健福祉センターの仕事は同じ清掃といえども、会社清掃で培ったことを生かしたいものです。当分はドタバタしながらも、『習うより慣れろ』と言うコトバもございます。コツコツやって行きたいものです。それに尽きると一心に思っています。

往け!!クリーンサービスわかば!!

☆ケルで私たちが担当してくださった木村さんの一言

暑い時期も寒い時期も汗をかきながら、一生懸命にやっていたいただきました。わがままなお願ひも対応していただきました。ありがとうございました。



『法人化』についてみんなで話し合いました。

「ゆいのもり社」「食工房ゆいのもり」「ザサードゆいのもり」では、設立委員会をスタートさせ、社会福祉法人格取得と通所授産施設の建設に向かって具体的準備をはじめています。

計画中の通所授産施設ではパン製造やカフェテリアの業務が予定されているため、「食工房ゆいのもり」のメンバーには、色々な不安や期待があります。質問や意見の一部を紹介します。

Q & A

Q：私は昭島市内ではなく多摩地域の他の市に住んでいますが、通所できますか。

A：都内に在住の人はその対象です。ただし、入所には審査が伴います。

Q：私は今作業所に週2回しか通うことができません。

あと1日増やして、週3日通うことができれば、通所授産施設のメンバーになれるか。

A：主治医と相談するなどして、自分の体力と体調のバランスを考えてみてください。

通所授産施設では基本的に週5日働く事を中心に考えることになります。

Q：通院のときの欠勤はどんな扱いになるんですか？

A：通院の回数や内容はかなり個人差があります。通院の必要に対して配慮はしていきます。

Q：親の介護などで当分の間、家庭の事情で通所出来ない場合、在籍を確保できますか。

A：一般の介護休暇制度を参考に考えていかれるかどうか。検討課題かもしれませんね。

e t c .

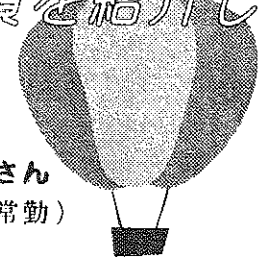
このように、授産施設の利用者となる可能性のある方々との意見交換をこれからも機会あるごとにもっていきたいと思っています。(嶋田記)

食工房ゆいのもりの新しい職員を紹介します！

田中彰さん (常勤)

今年の4月より勤務し始めて早半年。以前の営業の仕事とはまったく違うパン作りに戸惑いながらも他の職員メンバーに支えられようやく仕事にも慣れてきました。パン作りでもメンバーと接していても日々の一つ一つから学ぶことが多く充実しています。三十路に差し掛かっての再出発ですが今までの経験も生かしつつ、信頼される職員としてがんばっていきたくてお思います。

斎藤秀子さん (非常勤)



今まで家以外で働いたことがなく、180度逆になった生活に自分自身とても感動していますし、未知の職場での仕事ということで出勤日が待ち遠しくて仕方ありません。今はまだ依存的な仕事ぶりではありますが、いずれは自立したお務めができるよう、頑張って2本腕×(掛る)人数で焼き上げたおいしいパンの配達をしてまいります。

バスツアー



ペンネーム：キヨロちゃん

私は8月26日ごろ、私にとって一番仲良しの友達を紹介します。彼女はひとりでなんでも出来ます。ひとりでツアーも新聞を見て出かけて行きます。お金がない私のことを良く知っていてときどき遊びにつれて行ってくれます。今回は寅さんの有名な葛飾柴又のツアーに誘ってくれました。その彼女の名前は〇〇さんといって私より1才年上です。仕事仲間の他には一番の友達です。私がお金が無い時、よく食事をおごってもらったものです。勿論、私もお金がある時にはおごってあげました。毎度毎度じゃ悪いもの、そんなこんなの〇〇さんと私の仲です。

今回のツアーの事を書きます。(奥多摩の人だから)朝9:00に福生駅で待ち合わせをして西友で9:45ごろまで時間つぶしをして10:00長崎屋の方向にあるアサヒ銀行の待ち合わせの場所に行き10:00ちょっとすぎに出発しました。そして高速に入り、途中でトイレ、休憩をしてバスのなかで昼食をとり(美味しいお弁当でした)葛西臨海公園で、花とダイヤの観覧車にのりました。観覧車にのるのに時間がかかり、ここではゆっくりできませんでしたが、観覧車の中で相乗りしたカップルとお話をして楽しかったです。そしてバスに乗り、隅田川へ行き、夕食でもんじゃ焼きを食べて、浅草の観音様を見て、雷門を歩きながら、カボチャのあげまんじゅうを食べ、美味しかったです。でも、もんじゃ焼きを食べる前に道を間違えてしまい、人に道をききました。あとは無事、水上バス乗場までつきました。そのあと隅田川のライトアップした舟に乗りキレイでした。私はつかれたせいか、今いちでした。あと、バスに乗り10:00ごろ福生につき弟に迎えにきてもらい、甥と姪と3人で迎えに来てくれてうれしかったです。

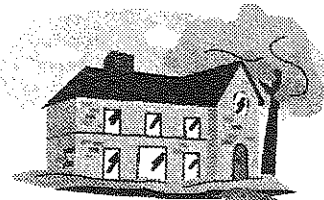
〇〇さんはそのあと青梅まで行き、奥多摩の電車を待ち、家についたのが、午前1時ごろだったらしいです。たいへんでしたね私も彼女も、それでは又。

ペンネーム「キヨロちゃん」について

「キヨロちゃん」は楽しかったこと、思い出に残ったことなどを自分なりに文章にまとめることを最近はじめています。文字が思い出せなかったり、表現に戸惑ったりしながら「自分らしく」書くことを大切にしているそうです。楽しんで書くことをモットーにして。(嶋田記)

はじめての一人旅

T. K.



僕の通っている〇〇病院の掲示板に1枚のチラシが貼ってありました。

「東京都立多摩総合精神保健福祉センターショートステイ」

僕はいつか自分も独り暮らしを始めることもあるだろうと思いながらどうチャレンジしていいのか思案していました。『親から精神的に自立するために。』

主治医の先生にショートステイに興味のあることを伝えると、先生はすぐケースワーカーさんに相談してくれました。

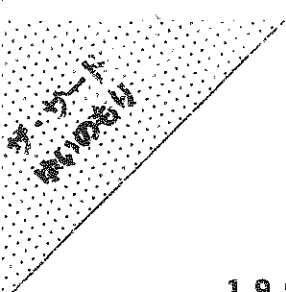
「Kさん、あなただったら一人で大体のことはできるから、できるだけがんばって。」とケースワーカーに励まされてでかけました。

主治医の紹介状をもって去る7月9日から10日まで、たった1泊2日でしたが、はじめてショートステイを体験しました。

夜と朝は給食を注文しました。この間、ホールなどで話すうちに二人友達ができました。

いつもより少なめでしたが5時間ねむれました。

少し自信ができました。今度、機会があるときには少し長期間のショートステイなどチャレンジしてみたいと思っています。



祝5周年 ザ・サードゆいのもり

1997年に開所したザ・サードゆいのもり。あっという間に4年過ぎて、5年目に入りました。今年は作業所の移転を行い、大きく変わりました。これまでの5年間と、移転、グループ就労についてメンバーの皆さんに語っていただきました。

引越しについて

須藤 隆

僕がこの作業所ザ・サードゆいのもりに来たのは1年10月前でした。その前は昭島保健センターのデイケアに通っていたのですが、一步前進してみようと思い、ザ・サードゆいのもりへ来てみたわけです。

ここでの仕事内容は、昭島市役所の喫茶サービスです。最初はとても緊張しました。何をしていたのかオロオロしていたのですが、職員さんやメンバーの人が、色々教えてくれたので、段々と慣れていきました。

そして時間が過ぎていくにつれて、仕事も増えていきました。例えば厨房は、喫茶で出すケーキやクッキーを作る仕事で、「ケーキやクッキーってこうやって作るのか」と、色々勉強になりました。喫茶店の仕事は、特に昼時は忙しいので、今も少し戸惑いますが、何とかこなしています。

そして1年が過ぎた今年の1月、引越しをするという張り紙がしてあって、僕は少し驚きました。まだ先の話かなと思っていたのです。

そして次の月、引越しの手伝いをする事になりました。小麦粉やコーヒーの粉やその他色々な物を詰めていきました。そしてそれをアパートの二階から階段を降りて、車に積みました。特に大変だったのは冷蔵庫と、テーブルを下ろしていく作業です。新しい作業所は、2階建ての一軒家です。ゆいのもり社も同じ所に引越し、サードは1階、ゆいのもり社は2階という風になりました。さて一軒家の中ですが、とても広くなって良かったなと思います。厨房も広がったので仕事がしやすくなりました。引越をして八ヶ月が経過しました。アパートの大家さんには一度も会っていないのですが、「ありがとうございました」と、心から思っています。一度会って見たいです。そしてこれからの自分は、もう少し作業所で仕事をして、自分に合った仕事を見つけて、社会に復帰したいです。

| 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 |
|-----|----|----|----|----|----|
|-----|----|----|----|----|----|

- | | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|
| <p>保健福祉センターあいぼっくのオープン行事に参加 デイズニースーツァー みんなのバザー</p> | <p>グループ就労に4名が応募、2名が採用となる 多摩地区交流バレーボール大会に参加、Kさんきらり賞に輝く 八王子市南大沢のアウトレットへ買物ツァー ポーリング大会(ゆいのもり社と合同) ぶどう狩り(ゆいのもり社と合同)</p> | <p>共同募金会より補助を受け、エアコンを設置 福生七夕祭り散策 暑気払い、夏休み 善意銀行よりパソコンの寄付を受ける</p> | <p>Nさん(女性、昭島市)入所 航空電子体育館にてスポーツ(ゆいのもり社、食工房と合同) 虹のセンター25 みんなのふれあいコンサートに参加 スーパージョウ極楽湯ツァー</p> | <p>Sさん(女性、国立市)入所 初夏旅行で箱根へ一泊旅行(ゆいのもり社と合同) 消費生活展に出店 北多摩看護学校実習(今年度は全7回実施) バットバットゴルフ</p> | <p>福祉わくわくコンサートに出店 ポーリング大会(ゆいのもり社と合同) 青梅看護学校実習(今年度は全2回実施) バーベキュー大会(ゆいのもり社と合同) ケーキバイキング82人来店 Kさん(女性、青梅市)入所</p> |
|---|--|---|---|--|--|

5年間を振り返って

木村 三枝子

今までを振り返ってみると、多くの人と出会って喜んだり共に悩んだり必死でがんばってきました。

時には作業所に行きたくない日もありそれでもいやいやながら仕事をして、終わったあとは解放感に満たされて「今日もなんと乗りきった」とうれしさでいっぱいになります。

喫茶の仕事の方は、今だにランチタイムに入る前が緊張します。最近ではランチの予約のお客さんもいて、職員の方々が知恵をしぼって作るランチが人気があるのはうれしいです。

灰皿やコーヒーカップも手作りでテーブルに置く花もどちらかと言えば女性が楽しんでいただけのお店です。カレーで使うドレッシングや福神漬けらっきょうの漬け物まで手作りというのも、最初はおどろきました。職員の方々のパワーに刺激されて何事にも真剣に取りくんできました。失敗も

数々ありますが職員の方に助けてもらって解決してきました。いつのまにか先輩になってしまい、新しいメンバーも増えていますが、皆さん覚えが早いので助かっています。これからどのくらいサーードにいるかわかりませんが、チームワークでがんばって行きたいと思います。



グループ就労について

宮崎 英美

私は現在クロネコヤマト多摩事業所で9月25日より働いています。仕事内容は、いろいろありますが具体的に、健康食品のサンプルを袋に詰めてテープをとめています。

勤務時間は12時45分から16時45分で週3回勤務しています。自宅は青梅市なので10時頃出発をして、19時頃帰宅をします。

サーードゆいのもりからは私1人なので不安でしたが、他のメンバーの方が優しく、仲良くなれたので不安はなくなりました。

これからも、無理をすることなく自分のペースでがんばります。

(グループ就労とは、今年9月より開始された厚生労働省のモデル事業です。)

| 4月 | 3月 | 2月 | 01年1月 | 12月 | 00年11月 |
|----------------------|--|---|---|---|---|
| 市内中学校入学式用にクッキー150袋納品 | 航空電子体育館にてスポーツ(ゆいのもり社、食工房と合同) 昭和記念公園にてお花見(ゆいのもり社と合同) 非常勤職員 伊藤薫子さん退職 横浜、みなとみらい21と中華街ツアー いちご狩り(ゆいのもり社と合同) | Kさん(女性、国分寺市)入所 Mさん(女性、羽村市)就職の為退所 青梅看護学校実習 | 移転先改築工事 移転の為喫茶森を一週間お休みする 保健所より、移転先の営業許可がおりる 緑町より田中町へ移転 | 作業所の移転決定 忘年会、冬休み 一泊旅行で群馬県水上温泉へ(ゆいのもり社と合同) | ゆいのもり総会 いも煮会(ゆいのもり社と合同) 市役所防災訓練に参加 青少年フェスティバルに出店 Sさん(男性、昭島市)入所 ケーキバイキング、133人来店 |

ザ・サーードと喫茶森 2001年

自分が元気になるためになくてはならない所 地域支援センター「虹のセンター25」

沼島市中神町の洗心センターの中に、地域支援センター「虹のセンター25」ができて1年、相談や夕食会などの利用が増えているそうです。でも、ゆいのもりの3つの作業所のメンバーに尋ねてみたら、知らない人が多いことが分かりました。地域で暮らしていく時の助っ人として、利用しない手はありません。そこでゆいのもりメンバーからの質問をもって、センター長の神マチさんに伺ってきました。

Q 地域支援センターとは何をするとところですか？

A 支援センターの仕事には3つの柱があります。1つは家庭訪問、医療機関や床屋などの付き添い、夕食会などの生活支援です。2つめは、お金の使い方や友達関係などの生活上や人間関係、情報が欲しいという相談。3つめは地域交流。「ふれあいコンサート」の時に、ザ・サードゆいのもりに支援してもらって大成功を収めたことは、これの代表的な活動です。

Q 誰でも利用できますか？

A 市内、市外を問わず、誰でも利用できます。精神の方、知的の方という障害の別で分けていませんが、精神の方の利用が多いですね。登録料は年間300円。交通費は出ません。この半年でオープンルームの利用者が述べ2,400人、相談が670件以上ありました。

Q 家族から相談を受けることはありますか？

A 身内のことや、家族自身のストレスを聞いて欲しいといった相談があり、喜ばれています。

Q 就職の相談はできますか？

A 就職の紹介はしていませんが、就職や職場の悩みなどの相談はしています。

Q センター長の神さんが、「虹のセンター25」を通して伝えたいことは何ですか？

A まずは顔を出して、自分はこの場をどんなふうにご利用できるか考えてみてください。いろいろな人の活動に触れて、自分のヒントが得られるし見聞が広がりますよ。また自分たちの問題は自分たちで解決できるよう、ピアカウンセリングや主体的な活動を組んでいけるよう支援しています。

Q 利用者の声を聞かせてください。

A 「ここは自由な所。何を言ってもいいし、言わなくてもいい。何かをしても、しなくてもいい。来たい時に来て、帰りたいときにいつ帰ってもいい。そして自分が元気になるために無くてはならない所」という声が寄せられています。

《取材を終えて》「虹のセンター25」にはゆったりしたソファと、お茶を自由に飲めるテーブルが用意され、魅力的な職員さんがいつもいます。朝9時から夜7時まで、開いている時なら来るのも帰るのも自由ですから、思いがけないおもしろい発見をしに、気楽に一度出かけてみませんか？

■■■編集後記■■■

この前の8月、私たちの作業所へはじめて地元の中学校の生徒が総合学習の一環として利用者の方々と一緒に、昼食の調理などに参加し交流しました。6月に大阪・池田小のでの事件で、地域の受止め方が一層厳しくなるのではと懸念していた私たちにとって嬉しい出来事でした。(し)



この机で利用者からの相談を受けています。